

都市再生整備計画 事後評価シート
新那加駅周辺二期地区

令和8年2月

岐阜県各務原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	各務原市		地区名	新那加駅周辺二期地区			面積	36ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	277	国費率	0.45				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道那730号線)、道路(市道那140号線)、地域生活基盤施設(新那加駅前乗降場)										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	事業名											
		削除/追加の理由											
		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響											
		基幹事業	道路(市道那474号線外1)	まちなかウォークラブル推進事業(新規)にて、都市再生推進法人や商店街の意見を取り入れたバリアフリーを前提にした整備内容を検討することとしたため							影響無し		
		基幹事業	道路(市道那481号線外1)	道路事業(単独費)にて緊急的に通学路の安全対策として路肩カラー舗装化を実施したため							影響無し		
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)	関連事業へ移行したため							影響無し		
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(新那加駅南口乗降場)	計画の見直しにより、新たに事業箇所を追加したため							影響無し		
基幹事業		道路(市道那426号線)	地域生活基盤施設(新那加駅南口乗降場)の変更に伴い追加したため							影響無し			
基幹事業		地域生活基盤施設(新那加駅北口駐輪場)	計画の見直しにより、新たに事業箇所を追加したため							影響無し			
交付期間の変更	当初	令和元年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響無し						
	変更	無し											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	バリアフリー化に対する満足度	%	55	R1	74	R6	-	90	○	あり なし	安全・快適に過ごせる環境が整い、満足度が着実に向上した。	-
	指標2	バリアフリー重点路線及び通学路の整備率	%	64	R1	75	R6	-	75	○	あり なし	-	-
	指標3	歩道整備に対する満足度	%	55	R1	65	R6	-	90	○	あり なし	周辺道路の整備を実施し、満足度が向上した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容												
	実施状況												
	今後の対応方針等												
	モニタリング								都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				
官民連携による取組								都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
持続的なまちづくり体制の構築								都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

新那加駅周辺二期地区(岐阜県各務原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:『駅周辺の安全・安心なまちづくり』 目標1:誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した拠点を整備する。 目標2:駅周辺道路を利用する歩行者の安全性の向上。	バリアフリー化に対する満足度	単位:%	55	R1	74	R6	90	R6
	バリアフリー重点路線及び通学路の整備率	単位:%	64	R1	75	R6	75	R6
	歩道整備に対する満足度	単位:%	55	R1	65	R6	90	R6

■基幹事業 地域生活基盤設備
新那加駅北口駐輪場整備





○関連事業 事業活用調査
事業効果分析調査

■基幹事業 地域生活基盤設備
新那加駅前乗降場整備



■基幹事業 道路
市道那140号線整備



○関連事業 道路
市道那965号線整備
○関連事業 道路
市道那426号線整備

■基幹事業 地域生活基盤設備
那加駅南口乗降場整備



■基幹事業 道路
市道那730号線整備



■基幹事業 道路
市道那426号線整備



まちの課題の変化 駅前に送迎場所が無いことや、ベンチ等の休憩施設がないことが課題だったが、今回駅前広場を整備したことで、路上駐車が減り、送迎やバスを待つ間、ベンチ等を利用する人が増え、地域の方にとって、安全性の高い快適な駅前広場となった。また、バスの運行路線を取り入れたことから周辺施設とのアクセスも強化された。周辺道路についても、歩行空間を明示したことで、歩車道が分離され、歩行者の安全性が向上した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む) 地域の方に心地よく利用してもらえるよう適切な維持管理を継続し、快適な生活環境の維持に努める。